

新しい司法書士像を求めて

ザ・フォーラム

《季刊》1998.10 No.36

発行

司法書士・行政書士
丹羽正夫事務所

〒461-0017
名古屋市東区東外堀町32
番地 鈴木ビル4F
TEL 052-962-9693
FAX 052-962-9633

登記・法律問題など、
お困りのことがございましたら、お気軽にご
相談ください。



バブル時代の検証

司法書士 丹羽正夫事務所



一 はじめに
日本における上場・
店頭公開企業は、約三
三〇五社存在するが、
本年九月中旬に約一二
一社が一株当たりの株
価一〇〇円を切った。

株価一〇〇円未満は、「倒産株価」の水準。
日本の株式会社総数は、約一一〇万社超であり、
このうち約九九・五%が中小零細企業で、
〇・三%の超エリートが上場・店頭公開企業
である。

「上場企業は、倒産しない」という神話が、
数年前まで存在したが、今は生存に適さない
多くの飽食大恐竜が減びていく時代。「経済
には浮き沈みがつきもの」という歴史的、社
会現象的な見方もできようが、経済の大激動
に至った背景が常に存在するわけであるから、
今回は、バブル時代に、タイムスリップして
みることにした。

二 バブル時代っていつ？
バブル時代とは、昭和六一年から平成三年
(八九〜九二)までの六年間という説がよく
引用される。

三 バブル時代の出来事
① バブル前夜(七九〜八五)
「ジャパン・アズ・ナンバールワン」出版。

株価が実態、基本を遊離し上昇傾向。第二次
石油危機、第一次リストラ、低成長時代、モ
レッツ社員、家庭内暴力事件多発、大企業の資
金調達に直接金融へ転換↓大銀行はゼネコン・
中小企業向け融資拡大。金融自由化、プラザ
合意後急激な円高政策、公定歩合引下げ、金
融緩和。銀行の自己資本超過融資顕在化。借
金よるカネ余り。

② バブル時代(経済優先のマナー主義)
◆八六(昭六一)〜八八(昭六三)◆
中曽根・竹下首相、宮沢蔵相

財テク、大消費景気、地価・株価高騰、N
TT株公開、地上げ、土地転がし、ニューヨ
ク株価大暴落(B・M)

◆八九(平元)〜九一(平三)◆
竹下・宇野・海部・宮沢首相、橋本蔵相

ベルリンの壁崩壊、ソ連邦解体、湾岸戦争、
リゾット法、臨海副都心・世界都市博構想、
東証ダウ平均株価三万八九一五円(史上最高
値、九二年約三分の一)。地価がバブル前比
一〇倍の物件登場(五年後約一〇分の一)、
日本の地価総額がバブル前約一〇〇〇兆円↓
約二五〇〇兆円(米四四つ分、地球の六〇%)。
九一年、証券金融不祥事。

四 ☆質素に上品に生きることを
学べし♥